

「第18回 議会報告会・市民との意見交換会」での、市民からのご意見への行政の回答

Q. 【上重原北部区画整理事業の問題点】

僕は組合があった頃は工業地区で賛成の旗振りでしたが、本当に工業地区で工業誘地して、賃貸で成り立って行くのかをずっと考えていて、日に日に、このまま進んで行けば、とんでもない事態になるのではないかと心配していましたが、僕に運が良かったと思いますが、一時凍結との事になり僕自身本当に救われた訳です。昨年3月突然北部恩田地区の集会があり、僕は地権者の方々にこれから日本も少子高齢化が進み、働く若者も少なくなっていくまじし、為替のドル安、円高が進み、民主党が政権を取っていた頃、円高も1ドル70円頃にはトヨタ自動車も3年間は赤字でした。今も1ドル105円を切り、円高は進んでいます。円高が100円を切れば、どのような企業も利益は出ず、赤字になって行くと思います。先日7月25日に最後のワーキンググループの集会が開かれました。部長、課長、係長、課員4名で、地権者は12名でしたが、問題点は工業地区ならば、先ほど申し上げましたが、工業地区であれば、地権者は何のメリットもありません。真近にせまった相続税を考えますと工業地区では、毎日枕を高くして寝られません。工事が始まって売ることができるには、10年近くかかります。商業地区ならば坪50万～60万で売れると思いますが工業地区であれば、地価は半分以下です。市は今回決まらなければ白紙撤回になるとの事ですが、僕達は商業地区でなければ、白紙撤回を望んでいます。万一工業地区で決定するならば、相続が発生したならば相続税も払えず、前途を悲感する地権者も現れると思います。県は商業地区でも住居地区でも良いと言っています。まず地権者の意向を最大限に尊重して市は工業地区では地権者の死活問題となりますので市は商業地区に方向を転換して頂きたいと切にお願いします。

1

回答所管課

まちづくり課

知立市の拡大市街地等に関するまちづくりの方針は、上位計画である「第6次知立市総合計画（2015-2024）」及び「知立市都市計画マスタープラン（2007-2021）」（以下、「両計画」という。）において定めるものです。

現時点の上重原北部地区のまちづくりの方針は、「両計画」とも産業系のまちづくりを進めることとしており、現在、その方針に基づき進めています。

「両計画」の見直し作業については、数年後の改定又は新規策定する段階で行い、上重原北部地区だけでなく知立市全域において、都市計画（まちづくり）に関する検討を行うこととなります。

従いまして、上重原北部地区の今後の土地利用構想につきましても、改めて検討することとなります。

「両計画」の改定等につきましては、市民の意見を聴く機会も設けて進めていきますが、知立市全域でのまちづくりを総合的に判断して結論を出していくこととなりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

<p>Q. 【観光（かきつばた祭）について】 平成29年度からの予算についてお聞きします。</p>	
2	<p>回答所管課 経済課</p> <p>平成28年度の「かきつばたまつり」については、八橋かきつばたまつり費として、市観光協会へ5,790千円の委託料を予算計上しています。委託内容としては、かきつばたまつりのPRに関する事、まつり警備及び交通規制に関する事、まつり行事に関する事等です。 平成29年度予算については、当該年度から5ヵ年計画で、かきつばた園改修事業を実施する予定であり、この間の「かきつばたまつり」について、地元関係者等と十分な調整をした上で、実行委員会及び庁内において慎重に検討していきたいと考えています。</p>

<p>Q. 【知立駅周辺整備について】</p> <p>①知立駅舎の方法について ・駅舎に売店、食堂が出来るのか。</p> <p>②知立駅と再開発ビルの連絡通路について ・通路をどのように作るのか。 ・通路は平面か又は2階建てか。</p> <p>③駅前自転車道の作成</p>	
3	<p>回答所管課 都市開発課 (①、②) 都市計画課 (③)</p> <p>①鉄道事業者の施設となりますが、利用される方の利便性等考慮しますと必要なものであると考えられます。</p> <p>②知立駅の構造上、改札口は1階部分のみとなり再開発ビルへの連絡通路はありません。従いまして、再開発ビルへは駅前広場を通ってのご利用となります。駅前広場につきましては、人と車の安全確保を図ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>③知立駅前に新たに整備する都市計画道路として、知立南北線、知立環状線がありますが、これらは車道以外に広幅員の自転車歩行者道を整備していく予定です。</p>